

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原 一夫 TEL06-6833-9227
 広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田 茂夫 TEL072-850-5781

平成13年6月(2001年) No. 426

柳川撮影会作品 最優秀賞は江村氏が獲得

さる5月26日(土)に行われた柳川撮影会作品の公開コンテストは、15本という多くの出品があり、互選の結果、最優秀作品に江村氏、優秀作品に関氏と前田氏、4位入賞に藤原氏が選ばれました。おめでとうございます。このたびの皆さんの作品は全般的にレベルが高く、良い作品が出揃ったと思います。どの作品も他のクラブで上映されたいずれもいい作品だと拍手をあげることでしょう。

■最優秀賞	江村一郎さん	柳川ひな祭り	6分45秒
■優秀賞	関 剛さん	雛祭考	9分45秒
■ "	前田茂夫さん	水郷柳川	11分56秒
■入賞	藤原純三さん	下げもんめぐり	8分05秒

(寸評)

最優秀作品の江村さんはノンリニア編集の第1作目だそうですが、現録とBGMを実にうまく処理され映像もスムーズでした。ただラストカットの漁港は異論のあるところ。それと下げもん、雛壇だん、水上パレード等の関連をどううまく画面転換していくかも、評価の分かれ目になったよう。またBGMの選曲も大事な要素の一つではなかったかと思えます。(合原)

6月例会と研究会のお知らせ

6月例会は第4土曜23日18時より、阿倍野市民学習センターにて行います。月1度の楽しい例会へご出席お待ちしております。今月は偶数月ですので、13時30分より作品研究会も行います。研究会は会場費500円が必要です。柳川撮影会作品の公開コンテストは終わりましたが、作品についての助言や批評を聞きたい方はどうぞ作品をお持ちください。また、一般作品でどうまとめたらよいかアドバイスが欲しい等の作品も遠慮なくご持参ください。作品レベル向上のため研究会の会場の場を大いに活用しましょう。

5月例会のレポート

今月は柳川撮影会作品の公開コンテストの日で、作品が15本も集まり時間一杯の上映となりました。色彩に富んだ美しい映像素材なので皆さん何とかまとめようと努力された結果ではないでしょうか。審査は1人3票の持点で、1位、2位、3位の順に書き入れて投票するもので、1位は3点、2位に2点、3位は1点として計算され、総得点の多い順序に入賞者が決定されました。今月の司会は合原会長、書記に安居世話役、デッキ係は渡辺、奥の両世話役、受付は安居良枝世話役の担当で進行しました。

■出席者：森、久一、前田、安居夫妻、関、森下、今井、吉岡、有村、奥、渡辺、西村、河合、藤原、宮崎、合原、江村、金子、勝、増池、那須、中尾、森田の24氏（敬称略）（なお、高田さんは作品のみの出品で欠席）

■上映（撮影会作品コンテスト）（今月の講評担当：安居利次世話役）

柳川撮影会コンテスト

1) 柳川ひな祭り 8分15秒 森 保信さん

プロローグに柳川雛祭りの全体を紹介されています。それから本番の雛祭りパレードを子供の化粧準備風景から克明に描いておられます。出発点におられた関係から、御自分のカットを主体にこのあたりが一番の山場ですが、全員のカットをうまくつないで、違和感なく上手にまとめられています。

2) 柳川早春譜 7分30秒 高田淳吉さん

ナレーションはご一緒にいかれた奥さまでしょうか、実際の場面を体験された実感がにじみ出ていました。動きまわれないので、自分のポジションを中心の構成になりますが、それがそれぞれのポリシーの表現力の源になっているようです。花嫁が船に乗って披露宴に向かうところにパレードの帰りの舟が偶然遭遇するところはやはり圧巻でした。

3) 柳川雛祭り 9分16秒 有村 博さん

さすがベテランだけあってカットの拾い方が上手です。特に始めの柳川ならではの情緒カットはうっとりします。パレード本番中の観客の短いカットは流れをもりあげます。那須さんと合原さんのカットだけに限定して作品に広がりとお興行きをつけられたことは、編集の基本だなと思います。

4) 水郷柳川雛祭り 10分 奥 宏さん

江戸時代から、柳川藩主たちが掘割を整備してきた歴史が丁寧に語られ、柳川が生んだ詩人白秋の生い立ちにも触られています。お孫さんでしょうか、そのナレにすごく温かみを感じます。

さげもののゆれているオーバーラップの連続カットは情緒をかもしだしています。PCもこうゆう風にするべきでその典型というべきでしょう。

5) 掘割物語 7分40秒 安居利次さん

チョット毛色の変ったものをつくってみようと試みたのですが、後半の「待ちぼうけ」の歌詞の部分が長すぎたので（歌詞の意味を知ってもらいたかった）緊ぎが悪くなってしまいました。失敗でした。

6) 柳川お雛祭り 8分 安居良枝さん

偶然再会した小さい頃のお雛さん、その再会場面を冒頭にもってきたことが流れを壊したかも知れません。それと最後の走馬燈のようにとPinPの飛ばし過ぎも違和感があります。ノンリニアの編集過程では作品の流れを掴むまで時間がかかりそうです。

7) 水郷柳川 11分56秒 前田茂夫さん

今回の出品作品の中で一番長いものですが、長さを感じさせない構成とナレはさすがだとおもいます。始めに白秋を盛りこんだ柳川の歴史を語り中ほどか

ら後半にかけて華やかな水上パレードの様子と実際の結婚式を終え披露宴会場に川下りしていくシーンが重なり合ってエンド向かう光景は印象に残りました。

8) 水郷柳川の春 **9分5秒** **宮崎紀代子さん**

一日目の雨の川下りのカットを上手に使うことによって先ず感心しました。対向船や同乗者のカットを省けばうまくいくのですね。それと自作の俳句をあちこちにナレ替わりに入れられているのが印象にのこりました。この感性をいよいよ始められるノンリニアで花を咲かせてください。

9) 雛祭考 **9分45秒** **関 剛さん**

すごい！見終わった直後の感想です。関さんの内部に潜んでいたものが一気に爆発したような感じ。お雛さんはその人と共になくしていく。淡島神社の人形がそうです。人の怨念みたいなものを秘めた能面がミステリー調にせまります。心理描写の演出はむつかしいのですが、最後のわらべ歌でまとめるところなど心憎いフィナーレになっています。出演女性の素人さがよかったです。

10) 水郷柳川 **11分30秒** **今井羨美さん**

構成といいナレといい模範的な作品です。白秋から柳川を紹介して水上パレードの絢爛さを皆さんのカットを上手に使うことで表現されています。今井さんの作品によく出演しているナレーターですが、模範的な作品がこのナレで一層盛り上がっています。制限時間一杯でしたが、飽くことなくみせていただきました。

11) 柳川ひな祭り **6分45秒** **江村一郎さん**

ノンリニアの処女作品が、一位なんです。タイムラインに貼りつけていくと今までのリニア編集感覚がわからなくなって始めは駄作になるのが普通なのですが、びっくりしました。オーバーラップが簡単に出来ることからこれを多用して逆に従来の江村調を強調して成功されています。ORを画面転換にうまく使われているところがにくいです。おめでとうございます。

12) 柳川・さげもん 私たちの雛祭り **5分52秒** **河合源七郎さん**

タイトル通りさげもんを情緒豊かに撮りなっています。あの撮影時さげもんを熱心にお撮りになっていました。その成果ですね。「私たちの」雛祭りの意味がよくわかりました。河合さんの分担の子供の準備風景が核になっているので、自然と主人公がその子供、そこで、「私達の」と言うタイトルになるわけで、あと終始一貫どの画面にもこども達が出ているというわけなのです。そういう観点からのまとめもあるのかと感心しました。

13) さげもんめぐり **8分05秒** **藤原純三さん**

さすが藤原さん、一つ一つのカットが正確でPC処理も凝っていました。インタビューもいれ、ナレーターの娘さんの小学1年生時の映像が生きていました。その時からお喋りがうまかったのですね、柳川では一部同行しましたが、精力的なカットひろいの行動にはついていけませんでしたが、その成果が作品に現れています。感心しました。

14) 柳川雛祭り **8分40秒** **勝 成忠さん**

たしか今度の撮影中三脚は使用されなかったようにお見受けしたのですが…その成果が自由なカメラワークに現れました。特に観客の背中越しの移動撮影は江村さんのお株を完全に奪った恰好です。他のカットも殆どぶれが気にならないのは、たいしたものだと思います。いいカットをたくさん拾われうまく編集されていました。

15) ひな祭りの頃 **7分15秒** **那須典彦さん**

撮影のとき編集のこと考えてカットを撮っていくから1～2時間で作品が出来あがるそうです。被写体に向かうと体がかってに撮影しているというのは熟

練の賜物なのでしょうが、そのカットがいつも光っています。ノンリニア編集でその輝きが一層増す事でしょう。

以上で上映を終わり、互選の結果1位江村氏、2位関氏と前田氏、4位に藤原氏が選ばれ、続いて次点に安居(利)氏、次に森氏の順となりました。合原会長より入賞者に記念のDVテープが、その他の作品出品者には努力賞としてDVテープ1本が贈呈され、二次会場へと散会しました。

■ノンリニア愛好者が急速に増加中!

ビデオ編集方法にリニアとノンリニアとがありますが、双方の利点を議論する時代はとっくに終わっています。現にOMCの会員諸氏の間でも、ノンリニアへ転向される方が続出している状況です。ノンリニア編集をする場合に一番考えなければならないことはパソコンの選択をどうするかということです。その選択肢として:

- ①超有名メーカーの映像編集対応機(例えばソニーVAIO等)の製品を買う。
- ②その他のメーカー(例えばDELL等)の安価な製品に各種のDVキャプチャーボードを設定して編集機とする。
- ③SHOP物の編集専用機を買う(例えば阪神プライム製)
- ④技術力のある個人に組み立ててもらう。

の4通りがあると思います。ではその中でどの方法を選ぶか、これもいろいろな考え方とその人の好みがあって一概に結論が出せないと思います。この数年前までは①のVAIOを選択した人が多く、ノンリニアを早くからやっている人に多いようです。

その後、カノープスから画期的なDV-Raptorという編集システムが登場して、カノープス方式が今や一番の人気システムになっているようです。OMCでは、パソコン組立に詳しい会員(中尾さん)がカノープスのDV-RaptorまたはDV-Raptor Stormを使用して組み立てたノンリニア編集システムを使う会員さんが増えています。パソコンの多様化もさることながら、編集ソフトも現在では多様化(Premier6、MediaStudio6、VideoStudio5、Raptor系統など)してきているので、何を選択するのがいいの一番迷うところですが、使い方が判らない等、困った時に気軽に聞くことが出来る仲間がいるかどうかを一番に考慮する必要があります。そういうことから、多くの会員さんが使っているシステムを導入することは後々便利であると思います。画像処理、映像処理に以前から定評のあるMacは愛用者が少ないという点からすると、購入するのは得策ではないようです。

VIDEO 5月のインターネット例会作品介绍

「柳川ひな祭り」江村一郎作品(画像をクリックしてください、スタートします。)

No	Real Video5.0	for ISDN modem	2287KB 6分45秒
1			